

## 第 29 回 東海村地域公共交通会議

【日 時】	令和 4 年 1 月 27 日(木) 10 時 00 分～10 時 45 分	
【場 所】	東海村役場 行政棟5階 原子力視察研修室	
【出席者】	(委 員)	出席 17 名(うち代理 1 名)／欠席 7 名
	(オブザーバー)	出席 2 名

### <配布資料>

- ・ 次第
- ・ 東海村地域公共交通会議 委員名簿
- ・ 東海村地域公共交通会議 設置要綱
- ・ 資料1 令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価
- ・ 資料2 新高校生等に対するリーフレットの配布(令和 4 年度入学生)計画
- ・ 資料3 茨城 MaaS について
- ・ 参考資料1 公共交通の利用実績【令和3年度】
- ・ 参考資料2 エコ通学のススめ 2021 リーフレット

### 1. 開会(企画経営課)

### 2. あいさつ

(萩谷会長)

みなさんこんにちは。副村長の萩谷でございます。

本日は、大変お忙しい中、第 29 回の東海村地域公共交通会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、今回は、皆様に委員委嘱させていただいてから初めての対面での会議となります。委員委嘱への御快諾いただいたこと改めて御礼を申し上げますと共に、2 年間の任期となりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

さて、先日、令和4年度の国土交通省の予算概要が公表され、バスやタクシーに関連する部分としては、バス・タクシー事業者のデジタル技術も活用した事業の再構築を図るための方策等の調査・検討を実施する「ポストコロナにおける持続可能な旅客運送事業の構築」が新たに始まるようです。路線バスに関しては、「『地域公共交通確保維持改善事業』におけるバス等への支援」として、「地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金」事業も継続して実施される予定となっております。この補助金は本村でも補助を受けている路線があり、本日は、「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」として、「令和3年度地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金」の評価を議題に挙げております。詳細については後ほど事務局から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の会議では、議題の外、その他として、「路線バス」や「デマンドタクシー」の利用状況等について、皆様と情報共有する時間を設けております。今年度新しく設置したバス停の利用状況や、デマンドタクシーの Web 予約システムの登録状況等についてお話いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、開催にあたりあいさつとさせていただきます。

### 3. 副会長の選任

岸委員，河野委員を副会長に選任

### 4. 議題

(1) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について⇒了承

- 「(資料1)令和3年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」「(参考資料)公共交通の利用実績【令和3年度】」に基づき説明(事務局)

#### 【質疑・意見】

質疑・意見なし

(2) 新高校生等に対するリーフレット及びバスお試し乗車券の配布について⇒了承

- 「(資料2)新高校生等に対するリーフレットの配布(令和4年度入学生)計画」「(参考資料)エコ通学のススメ 2021 リーフレット」に基づき説明(事務局)

#### 【質疑・意見】

質疑・意見なし

(3) 茨城 MaaS の取り組みについて⇒了承

- 「(資料3)茨城 MaaS の取り組みについて」に基づき説明(事務局)

#### 【質疑・意見】

質疑・意見なし

### 5. その他

- コロナ禍での公共交通の利用状況等について意見交換を実施。

#### 【質疑・意見】

#### ● 路線バスの運行状況について

(飛田委員代理 ※茨城交通株式会社)

コロナ禍での状況だが，令和3年12月実績では，会社全体の路線バスの利用者が，8割ぐらいに戻っている。令和3年11月は7割程度だったので，少し利用者数の回復が見えてきたところである。利用者は，通勤も減っているが，学生の利用が一番減っている。学生は，4月に乗らないとその後は乗らない。そのため，ここ2年間は，新型コロナウイルスの影響を受け，学生の利用が伸び悩んでいる。令和2年4月に定期券を購入する人が多かったが，すぐ休校になり，ほとんどが払い戻しとなった。営業所にある現金が足りなくなるぐらい，払い戻しの対応をした。令和3年は，休校は無かったが，利用者は様子を見ているという状況だった。当社では，4月に一番売りたいのは年間定期だが，年間定期の購入は減っている現状にあり，1か月，2か月の短期間定期を購入する形となって

いる。

去年はコロナ禍で学生の親もバス電車で通学させず、車で送っていく状況になっていた。また、通勤も乗用車への転換があった。車での通勤・通学をする方々を、公共交通へ切り替えすることは、難しいと思っている。そのため、学生に関し言えば、4月に巻き返しをしていかなければならない。しかし、少子化で毎年数%収入が減っているのに、令和元年の数値と比較しても、回復して9割程度であると思っている。

そういった状況の中、東海村では、フローレスタ須和間循環線においてバス停を増設し、新設バス停の利用者も増加傾向となり、増設した効果が出ている状況である。近くのバス停から移った人ではなく、「ここにバス停ができたから乗ってみよう」という人が増えたのではないかと分析している。前年比にはなるが、2〜3割程度、新しくバスを利用する人が増えている。本会議や行政の利用促進の結果が出たのではないかと考えている。

- **新バス停の利用状況について**

(富永委員)

バス停新設について感謝している。自宅がバス停の近くなので、時々バスが停車すると、利用者がいるなという安心感でホッとしている。昨年4月に団地の真ん中に新しいバス停が出来て1ヶ月が経ち、この2年間のコロナ禍で高齢者の多い緑ヶ丘区は残念ながら散歩する人も公園や集会所に集まる人も激減して、バス利用者も当初想定数に程遠い現状だと想定している。

昨年4月のバス停増設から1か月後の5月に団地内アンケートを回覧で実施した。団地内でのバスとマイカーのすれ違い、曲がり角での通行の心配、バス停横がゴミ集積所と資源ゴミ集積所になっていることから、ゴミ出しの車と人がバスと鉢合わせするのではと心配する声があった。一方では、「便利になった」、「荷物が多い時バス停が近くて助かる」、「バスから電車への乗り継ぎができて便利」等の喜びのコメントが出ていた。その後、10か月経って、バス路線上の路上駐車は減り、ゴミ出し・資源ゴミ出しの人・車とバスとの遭遇場面も明らかに減ったと感じている。今年の4月にも、開通1年経過後の全300戸にバス利用アンケートを実施予定である。

コロナが終結すれば、駅前へ、JR経由で水戸や東京へバス利用者が増えて、元気な高齢者の顔が見えるようになることを期待している。昨年、開通直後に考えていた全戸対象の交流会イベントが流れ、お楽しみ抽選会の景品としていばっピカードを配布する、バス利用促進を図る計画がとん挫している。今年も感染状況を見ながら実施の可否を判断したいと考えている。

- **デマンドタクシーWeb予約システムの運用について**

(相巢委員)

今年の1月からデマンドタクシー「あいのりくん」のWeb予約システムの登録受付を開始し、現在は24名の方が登録している。利用については、登録者のうち4名が6回ほど利用している。Web予約システムを利用するメリットとしては、受付時間の制約がなく、1日中申込ができることが挙げられる。また、特に午前中の予約電話が込み合う時間帯に、スムーズな申込ができる。利用者にとってはかなりのメリットだと思う。

一方、受付するオペレーター側の状況としては、キャンセル時のシステム処理が分かりにくいという問題があるが、今のところ順調に対応できているとの報告を受けている。今後は、利用者が増えていくことが想定されるので、課題等も随時対応していきたい。

- デマンドタクシー「あいのりくん」の利用状況等について

(舛井委員)

デマンドタクシーの運行にあたり、昨年度からコロナが終息することなく、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置区域の指定、解除が繰替えされ、不要不急の外出自粛が求められたことから、利用者数の減少に繋がった。運行については、コロナ禍での運行による、感染予防対策として、マスクの着用やビニールカーテン、アクリル板の設置、一便送迎毎のアルコール消毒等を徹底し、この 2 年間、従業員の感染者を出すことなく運行ができた。また、東海村デマンドタクシーの運行から 16 年、大きな事故もなく運行できたのも、ドライバーのお陰だと思っている。

他の地区では、デマンドタクシーの不人気という話も聞かすが、茨城県の市町村で一番初め、全国でも三番目にデマンドタクシーを導入した東海村では、まだまだ大人気であり、交通弱者にとっては、なくてはならない地域公共交通になっているのだと感じている。今、「オミクロン株」が流行しているので、引き続き、感染対策を進めながら、交通安全・安心対応、利便性向上等、様々な課題に対応し、村民の皆様の期待に応えられるよう、努力していきたいと思う。

- 路線バスのダイヤ改正について

(飛田委員代理)

議題ではないが、3 月 12 日に JR のダイヤ改正がある。それに伴い、東海駅から茨城東病院、海浜公園を運行する 2 路線のダイヤ改正を実施する予定である。運行本数については変更しない。変更後のダイヤは、JR の詳細なダイヤが公表されてから、公表していきたいと考えている。

【質疑】

(萩谷会長) 路線のダイヤ改正は、公共交通会議での協議案件ではないのか。

(事務局) ダイヤ改正は、軽微なものであるため、協議事項とはしていない。

- タクシーの利用等について

(佐藤委員)

免許返納をする人が多いが、返納者からは、「もう 2、3 年運転したかった」と言う意見をよく聞く。例えば、東海村のタクシー会社の営業時間は何時まで、夜に急用で出かけたい場合、予約はできるのか。

(舛井委員)

常東タクシーは、ほぼ 24 時間対応している。日曜日の午前 0 時から 3 時半は、予約運行のみだが、それ以外の時間は運行している。

(佐藤委員)

車や送迎してくれる人がいないと気軽に出かけられないため、免許返納したリスクはとても大きいと思う。タクシーは、予約しておけば何時でも送迎してくれるのか。

(舛井委員)

日曜日の 0 時から 3 時半は送迎できないが、それ以外は対応できる。また、夜中、救急車で救急搬送された方が、病院から自宅等への帰りの移動手段として予約が入ることがあり、そういったニーズには対応していると思っている。

(佐藤委員)

車がない人は移動に不便を感じると思うので、タクシーの運行時間等を住民に周知してはどうか。また、車がないと、今後はお店も少なくなるだろうし、住民も不便になる時代がくと思う。スマホ等を自由に操作できる人ならいいが、高齢者は上手く操作できないだろう。その辺りも行政のサポートがほしい。

(萩谷会長)

行政としては、高齢者の免許返納の推進を行っている。高齢者が運転し続けていくことのリスクと、免許返納に伴うリスク等を考えていかなければならないと思っている。実際は、免許返納後に利用できるものとしてデマンドタクシー等を準備しているが、突然の夜中の移動は、救急車や民間のタクシー事業者に頼らないといけないのが、現状である。その辺りの課題は村としても、引き続き検討していきたい。

- 高萩市の取組みについて

(松本委員)

令和4年1月4日の読売新聞茨城版に、「呼出型バス運行拡充」という記事があり、高萩市の取組みが紹介されていた。詳しい内容は分からないが、できれば次回の会議で、詳細な内容を説明いただけないかと考えている。高萩市の取組みが、東海村でも運行できるものなのか併せて提案等していただきたい。記事を読むと、東海村デマンドタクシーのバス版なのではないかと思う。

(事務局)

高萩市の取組みについては、本村でも視察に行き、ある程度の話はできると思うので、機会をいただいて、事業者とも併せて説明したい。

## 5. 閉会

- ・ 次回は令和4年6月の開催を予定している。

以上